平成３０年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書④

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

都道府県・政令市【　岐阜県　】

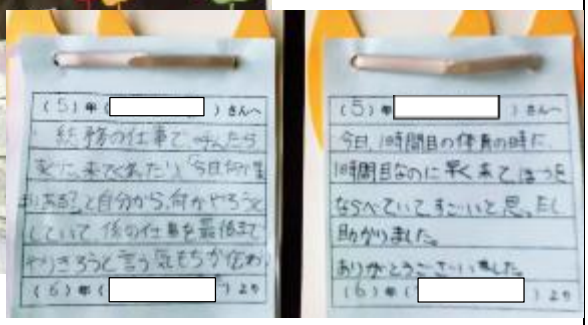
１実践テーマ	【　　Ⅲ　・　Ⅴ　】
２実施対象者	学校名：岐阜県海津市立大江小学校 対象学年：　全校児童　　６１名 地域・保護者　　１００名程度 学校職員　　１４名
３展開の形式	（１）学校における活動 ①　教科名（　　体育　　） ②　行事名（　　運動会　） ③　その他（　　） （２）地域における活動 ①　イベント名（　運動会　） ②　その他　　（　　）
４　目　標 （ねらい）	・体育学習の発表の場とし、競技や演技をすることを通して、運動する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・児童の自発的な活動を通して、運営や準備などに積極的に参加させ、協力し合う態度及び責任ある態度を育てる。 ・集団の一員として、集団への所属感をもつとともに、集団生活における望ましい態度を育てる。
５　取組内容	※大江小の特徴である「地域密着」の運動会で、町民運動会のような形態をとっている。学校行事でありがならも、地区社会福祉協議会やPTAが運営に参画している。 ■結団式 ・　６月２９日（金）朝活動　体育館 運動会スローガン発表 みんなの心を合わせて、最後まであきらめずに全力で競技や応援をし、誰もが活躍できるような運動会にしていこうという思いが込められたスローガン 【運動会スローガン：心を一つに大江リンピック】

団ごとの活動（応援団員紹介、声出し）

■大江地区社会福祉協議会　運営委員会
- 8月17日（金）19：30～
  大江小学校運動会について　骨子　役割分担

■大江地区社会福祉協議会　評議員会
- 8月22日（水）19：30～
  大江小学校運動会について　詳細確認

■運動会バージョンあやの花（よさみつけ）の活動（随時）
- 児童会（企画委員会）を中心に働きかけ
- 昼の放送で、あやの花の紹介し、価値づけをした。



【校内掲示：あやの花さく大江小：ブルーの用紙は、運動会の取組の中でみつけたあやの花】

- あやの花（一部紹介）

4年女児☞6年男児へ
応援の練習の時、2年生の子や1年生の子に優しく振り付けを教えていました。さすが、6年生だなと思いました。

5年女児☞6年男児へ
リレー時に、後ろの子に抜かされても最後まであきらめずに一生

懸命走っていたので、次に走る子のことを考えての行動だと思いました。

・運動会取組期間中は、普段と差別化を図り、「あやの花」用紙を白からブルーにし、校内掲示版に掲示した。期間中に、すべての子どものあやの花が掲示できるように配慮した。記述内容は、運動会の競技や応援、係会等で仲間のよさをみつけ、どんな姿がよかったのか具体的に書き、全校児童が目にすることができるように昇降口前の掲示板に掲示した。

・子ども同士の認め合い以外にも、教師から子どもへの見届け、価値づけをする際にも「あやの花」を活用した。

■運動会に向けて、士気を高める校内掲示の活用

【　誇れる姿を意図的に紹介　】

・全力で向かう姿の美しさ、努力する姿のかっこよさを子どもたちに視覚的に分かりやすく伝えるために、写真やコメントで紹介し、価値づけた。

■運動会のために団結しようキャンペーン

係会（総務係）

＜キャンペーンのねらい＞

・みんなが団結して動いて、運動会への気持ちを高めよう。

９月４日（火）～１４日（金）

取組内容☞動き・声　点数化して運動会の点数に加算

■運動会（※解団式も含む）

・　９月１５日（土）大江小学校　運動場

【仲間や地域の方と心を一つにし、全力を出して競技、応援等している様子】

【小規模校の強みを生かした種目：全校リレー・三世代交流の地域種目】

9		10:05	かごをめがけてえいっ！ 地域種目(幼,1,2,祖父母,高齢者)	よーくねらっ 入れよう！
10		10:15	スプーンリレー(予選) 地域種目(選抜メンバー)	バドミントン さないようにダ
11	☆	10:25	天下分け目の古中島の戦い 5・6年団体競技	棒を奪い、得 握る戦いがいざ
12		10:35	薩摩義士踊り 地域種目	地域に伝わる 踊りましょう。
13		10:45	地域の命を守る訓練 地域種目	もしもの時、 する意識を高め
14	☆	10:55	畝を飛び越え収穫だ！ 1,2年団体競技	畝を飛び越え を，落とさない
15	☆	11:05	とんではさんでなかよくゴール 3・4年団体競技	二人でかけ足 トバレーボール
16		11:15	親子のタスキリレー 5・6年親子競技	親子のあうん す。タスキを最
17		11:25	肩寄せ合って仲良しこよし 地域種目	ペアで肩を組 びます。
18		11:35	卒業生リレー 地域種目(中高生)	大江小の卒業 す。
19		11:40	スポーツ少年団パレード 野球・バレー	ユニフォーム 注目ください。

【運動会プログラム（一部抜粋）：地区社会福祉協議会と連携して運営】

・全校種目、学年部種目、親子種目、地域種目等があり、運動を通して、大江地区社会福祉協議会と連携して運営している。種目によっては、三世代交流があり、こ保幼園児、小学生、中学生、保護者、祖父母、地域住民が一同に介して、運動に親しむ場となっている。

■大江地区社会福祉協議会　評議員会
・１０月１９日（金）１９：００～
大江小学校運動会の反省

６　主な成果

■今年度は、運動会に向けて（当日も含む）、種目練習や応援の練習、係会等の役割の中で、仲間の「あやの花」（よさみつけ）をみつけてカードに書き、昼の放送で紹介していく取組を実践したことで、運動が得意な子も得意でない子も共に一つの目標に向かって取り組む姿勢、過程を大切にしながら、心の耕しをすることができた。

■同学年や異年齢の子ども同士、教師から子どもというように、多角的に子どものよさを価値づけることができた。

■日常として取組をしている「あやの花」の一環として、運動会の行事も絡めて無理なく取組が横断的にできた。運動会に向けた取組の視点で、それぞれの子どものよさを捉えることができた。

	■小規模校である強みを生かし、大江地区社会福祉協議会と連携して、地域と保護者、学校が協働して運動会を盛り上げることができた。それは、運動会の企画・運営の段階から３者が携わり、子どもたちや地域住民にとって、望ましい運動会になるように意見交換し、多様な考え方を生かしたからだと考える。 ■運動を通して、地域住民と触れ合うことができ、思いやりの心が育った。例：高齢者の走る速さに合わせて一緒に走る姿、来賓やおもいやり席（高齢者）に優しく声をかけてお茶をもてなす姿等
７実践において工夫した点（事業の特色）	■学校として、年間で日常的に取り組んでいる「あやの花」を運動会の行事と絡めて、児童会を中心にして実践した。取組期間中に全校児童６１名全員の「あやの花」を掲示し、運動会当日に保護者や地域の方にもみていただけるように啓発した。 ■運動会のスローガン決めの際に、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックが意識できるように、子どもの願いを吸い上げながら、スローガンを「心を一つに大江リンピック」と決定した。 ■取組期間中は、お昼の放送でその日の「あやの花」の紹介をタイムリーに行い、仲間のよさを全校で共有した。 ■地域の方が、気軽に競技に参加できるように、チケットを作成し、運動会当日に競技担当者から手渡ししてもらった。そのことで、地域の方も傍観者でなく、参加者として共に運動会を楽しむことができた。
８主な課題等	■日常の取組と運動会の行事「あやの花」の取組を絡めて実践した効果はあったが、全校児童６１名全員の「あやの花」をみつけて掲示するには期間が短く（実質１０日間）、教師側の配慮は不可欠であった。 ■地域と方と一緒に行う種目は、練習の時間がなく当日を迎えるため、進行がスムーズにいかないこともあった。 ■運動会で培った力を日常の生活の中でも意識的に広め、価値づけていくことを継続していく。
９来年度以降の実施予定	■来年度は、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの開催前年度にあたるので、運動会のスローガンづくり、種目検討等において、より一層、オリンピック・パラリンピックが意識できるようにしていく。 ■運動会と併せて、体育の授業、縦割り遊び、８の字縄跳びなど、運動に親しむ活動の中でも「あやの花」の取組を継続していく。